

江戸時代の門松を再現・大門松も会員みんなで頑張りました！

二川本陣資料館門松建植



令和6年12月15日(日)二川本陣資料館に今年も江戸時代の門松と大門松を建植しました。前週より準備を行い松・竹・梅をはじめセンリョウ・裏白など岩屋緑地のものを利用して立派な門松が完成しました。今回より子供会員も参加して材料の採取や組立など手伝いました。会員の高齢化により活動の継続が危惧されているので、里山の保全だけでなく日本の伝統を少しでも子供達に伝えていきたいと思ひます。【写真左上：完成した江戸時代の門松。写真右上：センリョウ採取の様子。写真左下：大門松用の孟宗竹切り出しの様子。写真右下：完成した大門松で記念撮影】



豊橋みどりの協会（豊橋市総合動植物公園 指定管理者）と連携

絶滅危惧種ナガボナツハゼ保全活動

令和7年3月9日(日)ナガボナツハゼ保全活動第2回として林床の整備を豊橋みどりの協会河邊樹木医の指導で行いました。今回は会員16名とみどりの協会2名に加え動植物園ののんほいパークのボランティア12名や横浜タイヤ「千年の杜 マイスター」の内藤さん・樹木医の資格を持つ公園緑地課の夏目さんも参加して大人数での活動でした。会員は事前にマーキングしたアカマツを間伐し細い枝をチップ化しました。のんほいパークボランティアの皆様には落葉集め・ゴカキをして頂き大変助かりました。前回確認したナガボナツハゼの株の周りに実生があるのを内藤さんが発見し教えて頂きました。5月初旬にはたくさんの花が楽しめると思ひます。今後も保全活動を頑張っていきます。

【写真左：アカマツ間伐の様子、写真真中：チップ作業の様子、写真右：ゴカキの様子】

